

公益財団法人東京都島しょ振興公社

令和6年度第3回評議員会議事録

1 開催日時 令和6年11月13日（水）10時00分～10時40分

2 開催方法 対面及びオンライン会議

3 出席者 評議員総数 7名
出席評議員 7名 坂上 長一 山高 亜紀子
徳山 正彦 佐々木 宏
榎園 弘※ 福永 太平※
浅沼 徹哉

※を付した評議員については、オンライン会議システムにより出席した。

出席理事 1名
理事長（代表理事） 渋谷 正昭

4 議長選出 山高 亜紀子

5 議事録署名人選出 佐々木 宏 浅沼 徹哉

6 議事の経過の要領及びその結果

理事長より、評議員7名の過半数が出席しており、定款第20条第1項の規定に基づき、評議員会の議案に対する決議は成立する旨を告げた。

次に、出席した評議員の互選により選出された山高 亜紀子氏が議長となり、議事録署名人について、議長は佐々木 宏氏と浅沼 徹哉氏の2名を指名、全員異議なく承認され、両人も承諾した。

7 報告事項

(1) 令和6年度事業報告（中間）について

令和6年度決算（中間）について

事務局長より令和6年度事業報告（中間）について、企画管理課長より令和6年度決算（中間）について、一括して説明がなされた後、次の意見、質疑があった。
（浅沼評議員）事業計画費について、令和5年度は執行率がほとんど10%や20%となっている。今年度も計画に対して執行率が10%や20%となっており、非常に低い状況となっている。

特に、ヘリ・コンピューター運航支援事業は執行率が0.1%となっており、極めて低い状況である。計画があるから予算が付いていると思うが、なぜこんなに低い執行率となっているのか教えてほしい。

(企画管理課長) ヘリ・コンピューター運航支援事業は東京愛らんどシャトルの運航に要する経費を、概ね半期ごとに、公社が東京都から補助金を受け、その補助金を公社から東邦航空に支出するスキームとなっている。令和4年度以前は9月30日までに補助金が振り込まれていたため、上半期では大体50%ぐらいの執行率で推移していた。しかし、昨年度と今年度は東京都から公社への補助金の振込が9月30日までに行われず、10月1日以降となってしまったため、中間決算で約5億円のお金が動いておらず、0.1%という極めて低い執行率となっている。

(浅沼評議員) 令和5年度も令和6年度も9月30日までの状況を比較しているということも説明から理解した。ヘリ・コンピューター運航支援事業以外の他の事業も、同様の事情で執行率が低くなっているのか。

(企画管理課長) その通りである。例年なら9月30日までに支払う案件も、報告書の確認等に時間を要しており、業者へ委託料の大部分を中間決算までに支払っていない状況であり、執行率が低くなっている。このため、来年度6月頃の評議員会における決算報告時には、支払いが完了した状態となっているため、高い執行率で説明できるものと見込んでいる。

(2) 第6次中期実施計画(公社における自律改革)の令和6年度実施状況報告について

企画管理課長より、標記事項について説明がなされた。

(3) 令和6年度第2回公社運営検討委員会の開催結果について

令和6年度第3回公社運営検討委員会の開催結果について

企画管理課長より、標記事項について一括して説明がなされた。

(4) 第7次中期実施計画(素案)について

企画管理課長及び業務課長より、標記事項について説明がなされた。

以上をもって、議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は10時40分閉会を宣し、解散した。

上記事項の経過の要領及びその結果を明確にするため、議長及び議事録署名人2名がこれに記名押印する。

令和6年11月13日

公益財団法人東京都島しょ振興公社 令和6年度第3回評議員会

議事録作成者

議長

山高亜紀

評議員

佐々木 宏

評議員

高 征 徹哉